

JICA NGO 等提案型プログラム NGO・市民社会組織のための危機管理・安全管理研修 募集要項（2021年2月オンライン）



1. 研修の概要

NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）は、JICA の NGO 等活動支援事業として 2019 年 1 月より全 8 回に渡り、安全管理者及び現地派遣者のための危機管理・安全管理研修を開催してきました。過去開催した 7 回の研修には、全国各地域の NGO を始め、教育機関、宗教団体、草の根事業を行う企業等、のべ 162 団体 221 名の方にご参加を頂き、好評を頂いております。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックにより、今年度予定していた研修は開催を延期しておりましたが、新たに COVID-19 下における危機管理・安全管理として内容を見直したうえで、2020 年 11 月より研修を再開しております。今回は、当初 2020 年 6 月に大阪で開催を予定していた研修のオンライン版としての開催となり、西日本の団体の申込を優先に受け付ける予定です。

本研修で扱う「安全管理」は、交通事故、疾病、強盗等の平時の危険から、紛争やテロ等の治安に関わる危険までを対象としています。スタッフの交通事故や感染症等で、ひやり、はっとした経験は、海外で活動する多くの団体が一度や二度は経験しているかと思えます。団体として、また個人として、危機管理・安全管理は、組織のマネジメントと支援活動の根幹に関わる重要事項です。さらに従来の研修内容に加え、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したリスク評価やケーススタディ、そのための管理体制を扱い、海外の現場での新型コロナウイルスを含むリスクから最大限の安全を確保しつつ事業を実施する手法の概略など、パンデミック下における日本の市民社会組織のニーズに対応した内容となっております。

事前アンケートにおける各 NGO の希望に沿って、今回はオンラインで開催しますが、引き続き従来の構成通り講義に加え、グループワークも組み入れた参加型のプログラムとなっております。

研修は「安全管理者向け研修」（2 日間）、「現地活動スタッフ向け研修」（3 日間）で構成され、資格要件を満たす限り両研修への参加が推奨されます。ただし、関心に応じてどちらか一方への参加も可能です。日本の市民社会の様々な役職のスタッフが、危機管理・安全管理について経験を共有し、相互の学びの機会を持つことを重視した構成となっております。

講師は UNHCR の安全管理トレーナー養成研修を修了し、NGO 等での運営や現場経験が豊富な方々が務め、参加者の学びをファシリテートします。

2. 研修概要

〔日時〕

<安全管理者向け研修> * 2 日間に分けて実施

1 日目：2021 年 2 月 18 日（木）9:30-12:30

2 日目：2021 年 2 月 19 日（金）10:00-12:00

<現地活動スタッフ向け研修> * 3 日間に分けて実施、いずれも日本標準時

- 1 日目 : 2021 年 2 月 24 日 (水) 9:30-12:30
- 2 日目 : 2021 年 2 月 25 日 (木) 9:30-12:30
- 3 日目 : 2021 年 2 月 26 日 (金) 10:00-12:10

【開催方法】オンライン (Zoom)

- * Zoom で接続し、google などのリモートサービスを利用するための、安定したネットワーク環境が必要です。
- * カメラ・マイクなどのオーディオと、ビデオや画面共有を利用します。

【言語】日本語

【主催】NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS)

【講師】 加藤 真希	一般社団法人 平和村ユナイテッド
古川 千晶	特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)
井川 定一	コンサルタント/JaNISS 認定トレーナー
折居 徳正	NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS)

【募集定員】各 25 名

【対象者】

- * 西日本 (愛知、岐阜、富山以西) に事務所のある団体にご所属の方のお申し込みを優先とします。
 - ①国際協力 NGO のスタッフを主な対象としますが、海外にスタッフを派遣している教育機関、学生団体、NPO 任意団体等、非営利の市民社会組織に属する方であれば、参加可能です。
- * 役員、職員、専門家、インターン、ボランティア等、団体での身分は問いません。
 - ②PC による Zoom での映像、音声、画面共有を伴う参加が可能な方
- * 本研修はリモートツールへの書き込みなどがワークに含まれるため、スマートフォンやパッドなど、研修参加上十分な作業が難しいと考えられるデバイスによる参加は認められません。
- ③上記の開催日時に参加が可能であれば、居住地や滞在地は日本国内外を問いません。また、もちろん国籍も問いませんが、研修を理解し、ワークに参加できるレベルの日本語力が必要となります。

【参加費】無料

- * 海外にスタッフを派遣する非営利組織で原則 2 年以上の活動経験を持つ場合は、両方の研修への参加をお勧め します。(非専従、ボランティア、インターン等の活動経験を含む)。
- * いずれか一方の研修への参加は可能ですが、両研修とも、プログラムの一部のみへの参加は認められません。
- * 1 団体から、管理者 (例 : 役員、団体代表者) と実務者のペアによる参加が望ましいですが、いずれか 1 人の参加も可です。
 - * 1 団体から 3 名以上が参加希望の場合、応募状況にて人数調整をお願いする場合があります。

3.申込期間と方法

2020 年 12 月 24 日 (木) ~2021 年 2 月 7 日 (日)

次の google form または QR コードからお申し込み下さい。

<https://forms.gle/eNhYKc31LBFAY51u5>

NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS) は、日本の NGO の有志団体によって運営されるネットワークで、NGO の安全管理に関する基準の普及と能力向上支援、アドボカシーを行っています。



4. 研修の対象者と内容等

「安全管理者向け研修」

対象者：団体の経営・運営を担う役員やマネージャーの方、団体の安全管理に責任を負う方、または今後そのような職責を担う予定で学びたいと考えている方。海外にスタッフを派遣する非営利組織で原則2年以上の活動経験を以ってご参加可能方を対象とします（非専従、ボランティア、インターン等の経験を含む）。経験2年未満の方の参加を希望の場合は、個別にご相談ください。

プログラム：善管注意義務、COVID-19 下での安全管理計画、安全管理を機能させるための方策、課題の明確化と解決のための行動計画

「現地活動スタッフ向け研修」

対象者：海外への出張や駐在を行う方、現在海外で活動中の方、またはその派遣に責任を負う方

プログラム：COVID-19 下での周囲の状況確認、安全リスク評価と管理、道路移動の計画、事務所の安全、心理的健康、改善のための活動計画作成

「過去研修参加者の声」

- ・COVID-19 の危機対応に際して、自団体以外の様々なグッドプラクティスが聞かれ参考になった。
- ・安全管理において自分たちの対応に欠けていることが明確になった。
- ・文書の共有、グーグルリンクの活用を含め、研修環境としてオーガナイズされた講習で、素晴らしかった。
- ・リスクを具体的にイメージするのに役立った。
- ・安全管理計画に入れると良い項目がわかった。
- ・自らのアクションを促す内容になっていたことは個人としても組織としても良かった。
- ・安全管理とは「～してはいけない」ではなく、「存在することで活動を可能にするもの」とわかった。
- ・とても参考になる研修をありがとうございました。もっと多くの方にご参加頂けるようになれば良いです。

「研修参加によって得られること」

- ・NGO の行う安全管理について、体系的な理解を深めることができます。
- ・リスク管理手法を理解し、団体の規模やミッション、活動地等に応じ、業務での応用法を理解できます。
- ・他団体と経験を共有しながら、自団体の抱える課題を整理することができます。
- ・安全管理計画策定のためのツールや研修情報等を入手することができます。

<お問合せ先>

①関西 NGO 協議会（KNC）

E-mail : miwako.takahashi@kansaingo.net 担当 : 高橋

②NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）運営事務局（（特活）国際協力 NGO センター-JANIC 内）

E-mail : janiss-info@janiss.net 担当 : 榊

※メールでのご連絡をお願い致します。新型コロナウイルス感染予防対策として、JANIC 事務所は閉鎖中のため、お電話を頂いた場合に応答ができません。

以上

NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）は、日本の NGO の有志団体によって運営されるネットワークで、NGO の安全管理に関する基準の普及と能力向上支援、アドボカシーを行っています。